

RPA 導入の成功の秘訣は「自動化する業務の選び方」にあり！ 最もメリットが生まれる業務の選び方とは？

資料概要

RPA を導入する前に検討すべきこととして、「どんな業務を RPA 化するべきか？」があります。この資料では、RPA で最もメリットが生まれる業務とは何か？について、詳しくご紹介しています。どのような業務をどのような分析で選んでいくのかを詳しくご紹介しています。RPA 導入の成果を最大化したい方はぜひヒントにご活用ください。

[この資料に申し込みする>>](#)

資料の内容抜粋



どんな業務をどう選ぶのか？ 分析の仕方を解説

主な目次

1. RPA で最もメリットが生まれる業務とは？
2. RPA に置き換えてもメリットがない業務とは？
3. メリットの大きい業務を見つけて出す3つの分析方法
 - (ア) 業務量分析の概要とやり方
 - (イ) 複雑性分析の概要とやり方
 - (ウ) 開発障害要因分析の概要とやり方
4. 3つの分析を実施する手順
 - (ア) 手順1：RPA 候補となる業務リストを作成
 - (イ) 手順2：業務リストから対象業務のあたりをつける
 - (ウ) 手順3：3つの分析の詳細分析を行い確定する
5. 参考：RPA 化の推進具合を可視化する
6. 実際に NEC グループで見つけたメリットの大きい業務の例
 - (ア) 定期売上計上審査業務
 - (イ) 監査資料の自動取得業務
 - (ウ) 販売店注文情報からの受注伝票入力業務
7. 業務の見つけ方のまとめ

[この資料に申し込みする>>](#)